

ふれあいのまち



松原かわら版

世帯数	1,164 戸
人 口	2,967 人
	(平成 28.3.1 現在)

退任にあたり

松原地区町会連合会
会長 小栗勝人

このたび町会連合会長を退任いたします。8年の長きにわたり務めさせていただきましたことができましたのも、ひとえに皆様方のご厚誼、ご指導の賜物と感謝の気持ちでいっぱいでございます。心から厚く御礼申し上げます。いたらぬ私ではございましたが、皆様のおかげで大過なく務めさせていただきました。いただき大変喜んでおります。

さて8年間を振り返ってみますと、就任当初、平成20年度には災害時要援護者支援制度を確立し、安心で安全なまちづくりをスタートさせました。また、公園清掃ボランティアを誕生させ、現在に至っています。さらに、この年には、町会費の減額、街を花いっぱいにする会、松本城を守る古城会への入会等もおこないま

した。

翌21年度には町会連合会自主防災会を設立し、松原中央公園にマレットゴルフ場を造り、高齢者の体力増進に努めています。

平成22年度以降にも松本市消防団第16分団への消火活動、防災活動の協力依頼や、町会連合会会則の作成、町内公民館の耐震補強工事、町内公民館の空き時間を利用しての放課後子ども教室の実施、町内公民館の名義の変更等、様々なことに町会連合会として取り組んでまいりました。これからも、松原が安心して生活できる地区であることを願っています。今後とも町会連合会に対し皆様の変わりぬご厚誼をお願い申し上げます。

お世話になりました 水谷直子

この度任期満了により、3月末をもちまして、松原地区公民館長を退任しました。館長就任時から五里霧中の日々でしたが、6年間大過なく任務を果たすことができました。これもひとえに地域の皆様、職員のご支援・ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

さて、松原地区公民館では「人と人との出会いの場づくり」「学習の場づくり」「地域づくりを担っていく人材の発掘」を目標に、事業・講座を実施してきており、その成果が学校サポート事業、食器回収事業、新そばふるまい会などに繋がっていると思います。これらの事業は回を重ねるごとに盛況になっており、今後も継続していただきたいと思っております。この6年間の公民館利用者数は延べ8万人を超え、皆様の生活の拠り所になりつつあるかなと感じています。

忙しくも大変充実した6年間で、地域の皆様とのご縁を深められたことは、何にも代えがたい宝となりました。終わりに松原地区公民館の

さらなる発展と、地域の皆様のご健勝を祈念して、退任の6年間ありがとうございました。

こどもたちの 安全・安心のために

こども見守り隊の紹介



平日の朝と夕方に、登下校の時間に合わせて横断歩道で旗を持って、安全のために小学生のみなさんの横断補助をしていてくれる方たちがいます。

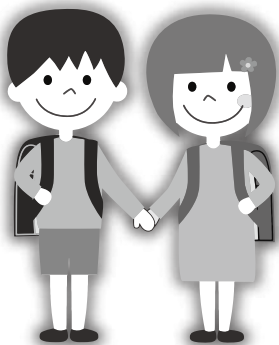
松原こども見守り隊は、平成16年に松原中央公園に、金属バット、出刃包丁を持った不審者が出たことをきっかけに、地域ぐるみでこどもの見守りを進めていこうと、平成

18年9月から活動を始めました。

当時、ボランティアとして、こどもたちを見守っていただけの方を募集し、10数名のメンバーで活動していましたが、現在は男性4名と女性1名の計5名で、小学校、中学校の登下校の時間に合わせ、横断歩道での横断指導などを通し、松原地区のこどもたちの安全を見守っています。

4月からは新小学校1年生も、慣れない中で登下校をするようになってきます。ぜひとも元気な笑顔と挨拶で見守り隊の方たちに声をかけてほしいと思います。

朝の通勤時間などは大人も忙しい気分になってしまいがち、車の運転も荒くなりがちです。こどもたちの安全のためにも譲り合いの気持ちを持ち、余裕を持った運転を心がけたいですね。





地区防災訓練を終えて

松原地区防災防犯部会 会長 大宅 輝美

平成 27 年度 松原地区防災訓練 安否確認報告結果

※人口は 1 月 1 日現在の
町会未加入者含む
平成 28 年 2 月 21 日

町会	人口 (A)	参加者数 (B)	参加世帯数	報告時間	安否不明 (A-B) ※不参加
第 1 町会	486	83	70	8 : 40	403
第 2 町会	478	40	35	8 : 42	438
第 3 町会	437	44	39	8 : 46	393
第 4 町会	434	41	22	8 : 45	393
第 5 町会	356	40	34	8 : 35	316
第 6 町会	317	46	30	8 : 45	271
第 7 町会	474	45	42	8 : 51	429
合計	2,982	339	272	—	2,643

「災害は忘れたところにやってくる」とは、昔の人の言ったことで、この頃は人災も天災も世界各地で毎日のごとく起きています。松原地区も地震帯の上に位置し、近年は地震活動も活発化しています。ここに住む人間としては、いつ起こるか分からない天災には十分な注意と心構えが必要かと思われまます。

松本市全体でも、各地区でもここ数年はたびたび防災訓練を行うようになってきました。しかし、住民の方の関心がいま一つと思われまます。今年度も 9 月 6 日には全市的地震に対する訓練が行われました。特に今回は松原・寿・寿台・内田地区が中心となり、明善小中学校を主会場として

各種の避難訓練を行いました。参加人数も千人単位の人々が参加していましたが、この訓練も一過性のものになりはしないかと心配するものです。

2 月 21 日に行われた松原地区の訓練では、地震を想定し、情報伝達、炊出し、給水の三種の訓練を実施しました。このような機会を利用し、各自が防災に対する対応等を考え、共生協働の心がけを持つてほしいと思います。

今後も、防災に関する講演会や、セミナー、訓練等に積極的に参加して、一人一人が自分の命を大切に、あわせて周りの人たちのためになる行動ができるようになってほしいと思います。

ようこそ松原へ

今回は第 3 町会にお住まいの小松さんご一家にお話を伺いました。



小松さんご一家

◆いつからこちらにお住まいですか？以前はどちらにお住

まいでしたか？
——平成 26 年 3 月に家を新築して、今年で 2 年たちました。以前は寿北に住んでいました。

◆なぜ松原に住むことを選んだのですか？
——夫婦ともに松本は地元ではないのですが、松本で子育てをし、幼稚園に通わせている中で親子ともに素敵な友達に出会い、この環境を変えたくなかったため、条件を満たしていた松原に決めました。

◆実際に住んでみてどんな感想を持たれましたか？
——町内清掃の時にソフトバレーの町会行事に誘っていただいたのがきっかけで、町会の方たちと仲良くさせてもらい、ありがたかったです。公民館でのこどもの行事も充実していて楽しませていただいています。スーパー、銀行、郵便局も近くて便利です。

◆松原地区がどのような感じですか？
——子どもたちとよく散歩をしたり、公園へ行ったりして休日を楽しんでいます。体を動かせる施設や場所がもつとあったらいいなと思っています。

コラム 北の旅人

「今年の新社員は…」と
言われていたのは遠い昔。その年は同期入社が多く、特に同年代の女子 5 人がいつも行動を共にしていた。少し経つと先輩たちに誘われ、ボーリングにキャンプ、海水浴、スキーといろいろな遊びを教えてもらった。そのせいか、新人 5 人が取る行動はかなり目立ち、2 年目を過ぎて「今年の新社員は…」と言われていた。今はその職場も無くなり、別々の人生を歩んでいる。

ところが「近頃の若いもんは…」という年代になった自分がかここにいる。今の職場にお世話になること 4 年目。自分の子どもと同じ年代の仲間と共に働くが、時にその行動や言動には驚くものがある。気が利かない、言われたことを忘れてしまう、遠慮がない、先輩や上司とお友達関係などなど、自分の子どもが社会に出て同じことをしていないか心配になる。が、『きつと自分たちも若いころはあんな感じだったんだろうな』と広い心で見守っていきたい。もうすぐ 4 月だ。今年の新社員はどうだろう。